

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!



元気でいこかい（見能林町）

これからの社会は、年々高齢者が増加していく。高齢者の住みよい町、元気な町にするにはどうしたら良いか。みんなが集う場・サロンがあれば楽しくなるのでは。そんな発想で誕生したのが、見能林町で行われている高齢者サロン「元気でいこかい」。

健康増進、介護予防の一助になればと見能林公民館で、見能方・石仏地区の高齢者に集まってもらい、さまざまな催しを行い10年目を迎えた。およそ2カ月に1度開催していて、次回で56回目になる。毎回、多数の参加者でにぎわっている。

平成20年に阿南市社会福祉協議会の方からアイデアをもらい、初めてのサロンを開催。内容は、健康測定、健康体操で、69人も参加。楽しかった、良かったと喜んでくれた。サロンでは、春にはお花見会。秋は、



お花見会は毎年大盛況



ちくわパン作り



健康測定のようす



みんなであいっしょに血まわし

ミニスポーツ大会。新春ともなると芸能大会。その他、交通安全教室や防災・津波教室、ゴミ分別法、振込詐欺防止、映画会、人形劇など内容は多彩だ。参加者をあきさせない内容を企画・運営しているのがサロンの世話役の皆さん。地域協議会、女性部、民生委員、公民館、お世話センターの方々などで構成している。代表の池添哲哉さん（76歳・見能林町）は、「次の開催を楽しみに待っていてくれる人がいるので、2カ月に1回は必ずやろうと、気合を入れてやっています。サロンに参加する側も運営する側も共に元気になっています」とうれしそうに笑う。高齢者の住みよい町をめざして集い、元気の源になっている「元気でいこかい」。もう年なんてとっておられますかいな。みんながみんな元気でいこかい。